

小学校 2 年

ミニトマトのかんさつ

東大阪市立布施小学校

教科

生活

単元名

大きくそだてわたしの野さい

本時のねらい

・野菜の観察や世話を通して、成長の変化に気づくとともに、その変化を比べる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・観察時の写真を記録として残し、前時の観察からどんな変化があるのか見比べる。
・作った資料をロイロノート・スクールに提出することで、友だちの資料も見ることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google Classroom ・Google Jamboard ・大型提示装置
・ロイロノート・スクール ・Google スプレッドシート

本時で育む主な情報活用能力

E-STEP 1, J-STEP 1
M-STEP 1, K-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	・Classroom を見て、学習課題をつかむ。 【写真 1】 めあて ミニトマトのようすをかんさつしよう。	・学習の流れを確認することで、見通しを持つことができる。 ・自分のペースや習熟度で学習を進めることができる。
展開 (30分)	・ミニトマトの観察に行く。 ・Jamboard に今回撮影したミニトマトの写真を入れて、前時のミニトマトとどこがちがうのかを見比べる。 ・見比べたミニトマトのにているところとちがうところを付箋に書く。 【写真 2】 ・作った資料をロイロノートに提出する。	・Jamboard に記録を残しておくことで、ミニトマトがどのように育ってきたのか成長を知ることができる。 ・ロイロノートに提出し、共有することで、他者のミニトマトの成長を確認し、比べることができる。
まとめ (5分)	・ミニトマトの成長についてロイロノートの提出箱を見ながら確認する。 ・ふりかえりをスプレッドシートに書く。 【写真 3】	・ふりかえりをスプレッドシートに記入すること、他者のふりかえりも参照しながら交流することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】Classroom を見ながら、授業の流れを確認している場面



【写真 2】Jamboard に写真を入れて、気づいたことを付箋に書いている場面



【写真 3】ふりかえりをスプレッドシートに書いている場面（共同編集）

児童生徒の反応や変容

ICT を活用し、Jamboard に記録を残していくことで、子どもたちが意欲的に活動することができるようになってきた。操作方法は最初に丁寧に説明したので、今では児童自らがツールの機能等を応用して活用しはじめている。本時では、他者の成果物を見た気づきを振り返りに書く児童もでてきた。また、これからどのように成長していくのか予想をたてる児童もでてきた。観察記録や教科書からキーワードをみつけ、Classroom に気づいたことをコメント（投稿）する児童もでてきている。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

Jamboard を使い、写真を入れていくことで変化を見取りやすくなった。また、コピーしてシートを増やすことができるので、簡単に記録を残していくことができる。似ていることと違うことを書いて残していくことで、前回からどんな変化に児童が気づいたのかを確認することができた。Jamboard で作成した成果物をスクリーンショットし、ロイロノートで提出することで、友だちの気づいたことについても確認することができた。